

# 友情は言葉の壁も越える。 海を越えた異文化交流

## 日韓交流事業

福智町 2007 泗川市

韓国泗川市は上野焼開祖・尊楮ゆかりの地。文禄・慶長の役を機に、ここから渡来した尊楮は、1602年、豊前藩主・細川忠興に従って上野の地に窯を開きました。今から4百年以上も前のことです。韓国泗川市との日韓交流は2002年の上野焼4百年祭がきっかけ。昨年、泗川市の三成初等学校から22人が来町し、今年10月6日〜8日までの3日間、上野・市場・金田・弁城・伊方の町内全小学校から6年生25人が泗川市を訪問しました。

韓国まではおよそ3時間、福岡から高速船に乗って釜山港へ向かいます。釜山からは高速バスで西へ、およそ2時間かけて泗川市に到着。たどり着いた三成初等学校で手厚い歓迎を受け、事前研修でハングルを学習した子どもたちは、覚えてきた単語をならべて心を通わせました。初日は4百年祭を機に開かれた九龍窯でやきもの作りに挑戦。夜は南江流燈祝祭を楽しみました。2日目は三成初等学校でスポーツ交流。

航空宇宙博物館・恐竜博物館も見学し、夜はレセプションで盛り上がりました。あつという間にむかえた最終日、プレゼントを交換した後、釜山港でお別れです。記念撮影をしたり、連絡先を交換したりと、グッツと涙をこらえながら、それぞれが別れを惜しみました。異文化に触れ、韓国の風土を吸収し、友情をはぐくんだ福智の子どもたち。言葉ではなく、心で通じ合った友情は、これから先もずっと、その胸に生き続けることでしょう。



主催：福智町交流事業実行委員会・福智町教育委員会

## Japan-Korea Exchange

### 町長日誌

一今年の敬老会は11月11日に行うことにしている。9月17日の敬老の日から、約2ヶ月遅れとなるが、今回は、金田にある屋内競技場（ドーム）を会場に、旧3町を一本化して開催することにしました。昨年は合併したばかりで、統一して実施するには時間的問題もあり、金田・方城・赤池の3会場で行わざるをえなかった。そこで、福智町老人クラブ連合会の役員さんたちに相談をしたところ、統一した取り組みについて前向きな姿勢を示していただき、心置きなく準備を進めることができた。方城・赤池の人たちにとって、少し遠くなるかも知れないが、多くのかたの参加を願っている。そして、現在の安定した地域社会を築いてくださったご苦労に、多少なりとも感謝の気持ちを伝えることができればと思う。ところで、敬老の日が祝日となった昭和41年の統計では、日本人の平均寿命は男性68.35歳、女性73.61歳となっている。それが、今や男性79.00歳、女性85.81歳まで数値が伸び、男性はアイスランドに次ぎ世界第二位、女性は22年連続長寿世界一である。100歳を超えている人も、3万人を上回ったそうだ。我が町には、健康長寿のシンボルだった皆川ヨ子さん（先日他界してしまっ）という最高の目標もあり、人生の先輩のみなさんには、いつまでも元気な元気でいてほしいと願うばかりである。

浦田 弘二